

2018年10月27日

「みなとみらい線車両留置場計画に関する説明会」議事要旨

1 説明会概要

日時：2018年10月27日（土）18時～19時30分

場所：神奈川近代文学館 展示館2階 ホール

参加者：35名

内容：（1）開会

（2）プロジェクト推進室長挨拶

（3）事務局紹介

（4）事業内容説明

（5）質疑応答

（6）閉会

2 主な質疑（順不同）

●計画関連

Q1. なぜこのような線形なのか。

A1. 公共用地を多く活用する為の線形であり、曲線も鉄道の基準である限度値を用いています。なるべく民有地の下を少なくするような視点で計画しています。

Q2. ルート選定の理由は何か。外国人墓地側のルートは検討したのか。

A2. 極力、民有地を通らず、公共用地を活用することを重要視しました。

外国人墓地側のルートも検討しましたが、民有地を多く通過するため、現実的でないとということで港の見える丘公園の下としました。

Q3. 他の場所に整備する代替案はあるのか。

A3. 弊社としては、途中分岐しての車庫整備の可能性なども検討しましたが、運用、コスト、工期等の観点から総合的に、元町・中華街駅終端部に設置する案が最良と考えています。現在のところ、代替案はございません。

Q4. 都市計画決定はするのか。

A4. 今回の事業は都市計画決定を行わない予定です。

Q5. 元町・中華街駅を横浜駅側に移動させればよいのではないか。

A5. 駅を移動させることは一度、営業を止めて今あるトンネルを掘り直す必要があるためコストや、工事の規模、様々な面を考慮しても現実的に困難です。

Q6. 法律根拠はあるのか。

A6. 鉄道事業に関連する法規としては鉄道事業法がございます。

また、公園の下を通すのは都市公園法、一部の道路下を通すのは道路法が関連します。

Q7. 今回の事業計画をやる理由がわからない

A7. 東急電鉄も自社の車両置場に苦慮されており、元住吉車庫は自社使用したいと表明がありました。他に車両置場がないかも含めて協議を重ねてきた結果として自社線内に整備することになりました。

Q8. 工事内容について、大まかでいいからもう少し説明があってもいいのではないか。

Q8. 現段階では説明できるまで計画が深度化されていないため、検討が終わり次第、説明をしたいと考えています。

Q9. 前回の地元説明会の際に、一軒でも反対する方がいたら計画は進めないと言っていたがその認識でよいか。

A9. 計画ルート上で私有地の地下を通過する箇所については、権利設定をさせて頂かないとトンネルは構築できないので、権利設定に反対された場合にはそれ以上のことはできないと申し上げました。

Q10. 計画ルートの土地所有者であるが、今の事業計画はほぼ賛成できないため、ルートから私の家の下を外してほしい。

A10. 車両留置場については、鉄道、公共交通を安全・安定に輸送するためには不可欠な施設でございます。私どもとしては何とかご理解を賜れるよう努力していきたいと考えています。

Q11. 今後は地権者のみに説明するのか。

A11. 地権者だけでなく、他の地元のみなさまへも適宜ご説明させて頂き、地元としての周辺のみなさまの合意を取ってまいりたいと考えています。

その手法については、弊社ホームページでの情報の公開や説明会を開催する等などを検討してまいります。

Q12. ルート上の地権者には、具体例を用いてもう少し細かい説明がほしい

A12. 了解しました。説明方法については社に持ち帰り検討し、1ヶ月後を目途に連絡するようにします。

●環境関連

Q13. 山手地区は環境を守る街づくりをしているなかで本計画は不適當ではないか。

A13. 山手地区が風致地区であることは承知しています。また、地質調査以外にも環境に対する影響の調査を実施し、環境への負荷を低く抑えるようにしていきたいと考えています。

Q14. ルート上の真上であるので、工事中の安全性、振動、地盤沈下がどうなっているのか心配である。

A14. 計画を深度化して詳細な検討をし、説明していきます。

Q15. 工事により陥没等の影響が出た場合はどのように対応するのか。

A15. 事業者としては、そういった被害を発生させないような施工計画とするようにしていきます。ただし、万が一工事に起因した被害が発生してしまった場合は、補償等の形で真摯に対応していきます。

●その他

Q16. 前回の議事録は開示しないのか。今回の議事録は公表するのか。

A16. 前回、今回の議事要旨を当社ホームページで公開する予定です。また、資料についても同様に公開する予定です。

Q17. 前回の地元説明会で出た意見に対する返答をすべきではないか。

A17. 前回の地元説明会において様々なご意見を頂戴したことは認識しています。具体的には、現計画位置の選定理由、他の場所での整備の可能性、地表面への影響など、この計画に対してのご心配などのご意見がありました。

Q18. 今回の計画において、地域貢献のような話はないのか。

A18. 地元貢献については、今後、地元のみなさまのご意見を頂戴するとともに、弊社からもご提案できるように、検討していきます。

Q19. 東急電鉄の車庫を延長して借りればよい。

もしくは東急電鉄と合併すればよいのではないか。

A19. 東急電鉄との協議の結果、車庫の長期延長は難しいとなったため、自社で整備することとしました。東急電鉄と合併の予定はありません。

Q20. 横浜市交通局発表のPM2.5の件は知っているか。

A20. 内容については知っています。今後、国等と情報交換し対応策について考えていきます。

Q21. 横浜市も同席すべきではないか。

A21. 横浜市とは情報を共有しながら進めています。

Q22. 都市計画決定しないとすると税控除は得られないのではないか。

A22. 本事業は鉄道事業であるため、税控除の対象になります。

Q23. 根岸方面への延伸計画との関連性はあるのか。

A23. 今回整備するのは車両留置場で、延伸計画とは直接的に関係はありませんが、将来の延伸には支障とならないように検討はしています。

以上